令和 5 年度　事務事業一覧表（シート作成分を除く）　担当課 保健課　担当係 保健対策係　作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

振興計画体系			総合戦略体系		事業名	事業目的	事業内容	令和5年度 事業費（千円）					実施状況	成果	課題	今後の方向性
								国県支出金	その他特定財源	一般財源（志基金含む）	合計	前年度比				
4	1	2	4	7	食生活推進員活動支援事業	食生活改善推進員の活動により市民が良い習慣を身に付け、食生活の改善が行なえるようその活動を支援する。	食生活改善推進員の地域活動（調理講習会等）に対する費用の負担及び指導や助言。			300	300	△ 2	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、保健課の母子保健事業やふれあい食体験事業については実施できていない。一部の生涯学習講座や地域の小集団で食生活改善の普及活動をしている。また、資質向上のため研修会や調理実習などは積極的に行われている。 R4年度 5人養成	地域に根差した活動が継続できている。	食生活改善推進員の活動を理解し、目指す人が少ないため、人員の確保が難しい。	継続
4	1	2	4	7	健康づくり事業	市民一人ひとりの健康づくりを推進するため、個人の意識啓発を行う。	①健康づくり推進員養成 ②健康相談 ③訪問指導	56		738	794	△ 203	【R4年度実績】 ①4人養成 ②148回　1,166人 ③111人	地域の身近な方が推進員となり、活動していただくことにより、健康意識の向上につながっている。健康相談は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画どおり実施できなかった。	健康づくり推進員がいない地区がある。新型コロナウイルス感染症蔓延防止に努めながら、健康づくり推進員の活動の場を検討する必要がある。	継続
4	1	2	4	7	自殺対策事業	一人で悩まず相談することで解決への糸口を見出すことができる。また本人がSOSを発することができ、周囲もSOSに気づき関係者へつなぐことで誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す。	①自殺対策ネットワーク会議の開催 ②自殺対策本部会議等の開催 ③ゲートキーパー養成講座の開催 ④自己判断システムこころの体温計の開設 ⑤こころの健康づくり相談会の開催	167		161	328	68	【R4年度実績】 ①2回開催 ②1回開催 ③8回　348人 ④アクセス数　延6,030人 ⑤6回　23人	市内の5中学校で「SOSの出し方に関する教育」を実施することで、若年者への自殺対策を推進につながっている。	自殺死亡率は、県・国より高い傾向にある。関係機関と連携を図り、本市の実情を捉えながら事業を展開していく必要がある。 新型コロナウイルス感染症の影響で一般市民等へのゲートキーパー養成講座が実施できていない。 悩みを抱えた方が相談しやすい機会を作っていく	継続
4	4	3	4	7	若年末期がん患者に対する療養支援事業	在宅での末期がん治癒に係る経済的負担を軽減することにより、最期まで自分らしく安心して日常生活が送れる。	若年の末期がん患者が、住み慣れた自宅で、最期まで自分らしく安心して日常生活が送れるよう在宅における生活を支援し、患者及びその家族の負担の軽減を図ることを目的とした訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与、福祉用具購入を行う。	216		216	432	0	【令和4年度実績】 1件	在宅で最期を過ごしたいという対象者の支援が図られた。	対象者の把握が困難。	継続
4	4	3	4	7	がん患者ウィッグ購入助成事業	がん患者に対し、手術、放射線療法又は化学療法に伴う脱毛による精神的負担を軽減するために医療用ウィッグの購入費用の一部を負担し、がん患者の経済的負担の軽減と、治療や就労等の両立を支援する。	がん患者が手術、放射線療法又は化学療法に伴う脱毛に対して、医療用ウィッグ等の購入費用の一部を助成する。	30		30	60	60	R5年度からの新規事業			新規
4	4	3	4	7	造血細胞移植後ワクチン再接種費用助成事業	造血細胞移植（小児がん等の治療）を行った患者に対し、ワクチンの再接種を行うことにより、治療後の免疫が低下もしくは消失した状態から患者の感染症発症予防や症状の軽減を図る。	造血細胞移植（小児がん等の治療）を行った患者に対し、ワクチンの再接種を行った、接種費用を助成する。	89		91	180	180	R4年10月からの新規事業 （R4年度は予防接種委託料で対応）			新規
4	4	2	4	7	医療用抗原定性検査キット購入支援事業											継続